

様式 2

授業科目 精神障害作業療法評価学		科目コード番号		
【担当教員名】 岡村 太郎	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【概要】				
精神障害に対する作業療法の評価を実施するために、必要となる基礎的な知識を身につける。				

【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	精神障害と作業療法 心理査定プラクティス	山根寛 岡堂哲雄：編	三輪書店 至文堂	2000 1998年 2200円+税
参考書	作業療法実践の仕組み	矢谷令子・福田恵美子	協同医書出版	2001
その他配布資料	プリント			
【評価方法】 期末テスト・出席・レポートにより評価				
【履修上の留意点】				

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】
精神障害に対する作業療法評価の主に知識を理解する

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 評価の概要について説明できる</li> <li>2. 評価と経過について説明できる</li> <li>3. 対象者の経過に評価の整合性について述べる事ができる</li> <li>4. 評価の方法について列挙できる</li> <li>5. 作業療法計画について書式にまとめレポートとして提出できる</li> </ol>

# 授業計画

教室 \_\_\_\_\_

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
	評価の概要		岡村(1～14)	講義(1～14)	
1	評価の特性・目的・対象項目	1			
2	作業療法のアプローチと評価の関係	1			
	評価と経過				
3	評価の時期と適応	2			
4	評価と回復状態からみた作業療法の役割・目的	2			
	評価の経過と整合性				
5	評価の必要性とその内容	3			
	身体構造と機能・活動・参加の評価	3			
	検査結果の解釈と検討	3			
	適応課題の選出	3			
6	ゴールの整合性(焦点化)	3			
	適応課題と作業の適応	3			
	評価・経過の記録	3			
	フォローアップの実施計画立案	3			
	評価の方法				
7	情報 : 他部門からの情報収集	4			
8	面接 : 構造、形態、種類と目的	4			
9	観察 : 構造、形態、種類と目的、	4			
10	作業面接 : 構成的作業面接・投影的作業面接	4			
11	検査・測定 : 種類と内容	4			
13	調査 : 種類と内容	4			
14	作業療法計画				
	作業療法計画の立案、経過記録、再評価	5			

その他